

M	T	W	Th	F	Sa	Su
11/9 春日原	10 久留米	11 下大利	12	13	14 白木原	15 朝倉街道
16 春日原	17 久留米	18 下大利	19	20	21 白木原	22 朝倉街道
23 藤崎 13~17 春日原休講 18~22 まどか	24 久留米	25 下大利	26	27	28 白木原	29 朝倉街道

準備良ければ結果よし

予備校・塾の先生の仕事はその昔、教材を創ることだった。確か昭和44年ごろ、勤めていた学校を辞められた一人の先生が筑肥線が見える小高い丘の幼稚園跡地に塾を始められた。
その塾は、今残る福岡の学習塾の始祖を確立する画期的な動きを持っていた。それは授業の後の確認テストを生徒に課すことを標準化し、塾全体の学力水準を保証することに成功した点だ。
特に組合が強い福岡という地で試験、競争、差別はタブーだった。先生がただ勉強を教えるという生徒、先生の学力に依存する学習形態を脱したこの塾はたちまち市場の評価を独占し、修館館高校の進学実績を抜群に誇る塾に成長する(その後の話は教室で)。
館長は元公務員・教員だったから、部下である先生達が創る確認テストの精度には厳しかった(公務員がどうやって手を抜かずすべて館長にはお見通し)。というよりも生徒の点数の結果や職員室での生徒からのリサーチで館長に先生の資質は丸裸。先生達は確認テストを創るため授業時間の何倍もの時間を費やして汗をかいだ話を聞かされたものだ。
毎授業確認テストが授業後にあるのだから、生徒は集中し授業を聞き逃さない→賢くなる、が、話す先生の労働環境は昭和そのものだ。

令和の今、生徒の授業のため問題のセレクトから汗する先生は皆無だ。天国から見ると館長から見れば今の先生達は「手抜き」「解雇」相当だろう。目の前の生徒に合わせるのではなく、生徒に市販の(解説のない)教材を買わせ、その答え合わせを上手く板書するのが「仕事」と勘違いしている先生が実に多い。問題が配列や背景に疑問を持つ先生はまずいない。
大手予備校も事情は変わらない。銀行の資本が入った河合塾、駿台、代ゼミは全国制覇を進めざるを得なかった。しかし、駿台御茶ノ水校と同じ授業ができる先生が福岡にいない(東大(附設)の問題は解かなくても九大(筑業丘)には受かる)。そこで教材を本部が創り進軍した。人を育てなかった、ということだ(教育現場の動き方改革は早かった)。
昔一流の先生は問題を見ると「これ京大の89年の理系4番の派生だね」と経験値の高さを感じる畏怖があった。その経験をベースに生徒に問題を与え合格に導いていった。
辛い、亡き館長に目にも適う先生集団が日本にはまだいる。教育系ユーザー一連だ。受験のプロ集団予備校の衰退は明らかに準備不足だ。そして、残された時間何をするか?手がかかった問題(模試・解答がしつかりした過去問)そして僕のリツイート動画も是非見て欲しい。



QRコード
全ての教室の最新時間割・Google地図も携帯で見れます!

令和2年度第3四半期時間割		令和2年3月30日掲載
春日原数学教室	月曜日 19:00~21:00	春日原共同利用施設: 春日原小学校校門より徒歩2分
久留米数学教室	火曜日 18:00~19:40	久留米毎日文化教室: 東町公園横西鉄久留米駅徒歩7分
二日市数学教室	火曜日 20:20~22:00	二日市コミセン: 旧筑紫税務署跡西鉄二日市駅徒歩3分
下大利数学教室	水曜日 18:00~19:40	下大利団地公民館: 西日本シティ銀行そば下大利駅徒歩2分
光が丘数学教室	水曜日 20:20~22:00	光が丘公民館1F: 光が丘郵便局よこサニーより徒歩1分
白木原数学教室	土曜日 15:00~17:00	白木原公民館2F: 西鉄白木原駅下車徒歩3分
朝倉街道数学教室	日曜日 15:00~17:00	針摺東公民館: 西鉄朝倉街道駅下車筑紫高校方向徒歩5分
おおはし数学教室	日曜日 18:00~21:00	三宅地祿会館3F: 西鉄地祿神社バス停前西鉄大橋駅目黒車3分

★出欠の連絡はEメール mail@fcs9981.sakura.ne.jp もしくは 092-919-2200 ★会場までの地図等は「数学専門塾 福岡」とヤフー、グーグル等ネット検索で確認できます